

学習・教育目標

山口県におけるへき地医療と在宅医療の課題を理解し、薬剤師の視点からそれらを解決できるマインドとデジタル技術を課題の解決に的確に活用することができる実践力を身につけます。

プログラムの修了要件

プログラムを構成するコース必修10単位を修得し、かつコース必修の地域薬剤師キャリア形成型アクティブラーニングを含めた正課外学習に参加した場合、本プログラムを修了したと認定します。

教育プログラム カリキュラムマップ

科目群	学習分類	プログラム科目等の名称	プログラムの学習教育内容	標準履修学年	プログラム履修区分	卒業要件区分	単位	養成する人材像「へき地医療の問題点を理解し解決するマインドと実践力を有する薬剤師」			
								学習教育目標 1	学習教育目標 2	学習教育目標 3	学習教育目標 4
課題を理解して解決する科目群 A（正課）	実習	へき地の在宅医療実務実習	山口県内のへき地の在宅医療の現場に薬学生として実習に参画し、へき地で発生している問題解決に向けた具体的な取組みを4週間体験する。	5年	コース必修	選択	1	●	●		●
		薬学臨床事前実習	5Gによるオンライン服薬指導を体験しAI感情ソリューションにより患者役の受講者の表情を解析するオンライン服薬指導の在り方を学ぶ。	4年	コース必修	必修	1	●		●	
		総合医療薬学演習	本事業により実施した症例について、患者背景、治療経過、処方等を添削した教材を作成し、モデル症例として活用する。	3年	コース必修	必修	2	●		●	●
	講義・演習	薬剤師論	へき地、離島で奮闘する薬剤師の姿に触れ地域医療における薬剤師に求められる資質とIT技術による新しいヘルスケアの可能性を考察する。	3年	コース必修	必修	2	●	●		
		山口県地域医療学 1	山口県内の在宅医療、在宅介護、地域保健、地域福祉、プライマリケア、セルフメディケーションの仕組みと意義を理解する。	3年	コース必修	必修	2	●	●	●	●
		山口県地域医療学 2	山口県内のオンライン診療と接続したオンライン服薬指導によるスマート医療と薬剤師の居宅療養管理指導の在り方を演習する。	4年	コース必修	必修	2	●	●	●	●
科目群 A の目的に加え山口県内への定着も意識した科目群 B（正課外）	多職種連携型アクティブラーニング	やまぐち地域医療セミナー	山口県内の医学部生・看護学部生との多職種チームにより地域医療マインドを持った医療人に育つことを目標に宿泊での実習を行う。	1～6年	コース選択	正課外学習	-	●	●		
	地域薬剤師キャリア形成型アクティブラーニング	地域薬剤師キャリア形成SGD	山口県内で活躍する病院・薬局・行政薬剤師とのスモール・グループ・ディスカッションにより地域医療における薬剤師の役割を理解する。	1～5年	コース必修	正課外学習	-	●	●	●	
		山口県薬剤師フォーラム	山口県内におけるへき地の在宅医療の現状や問題点を理解し、山口県の地域医療に貢献しようとする動機付けを行う。	4～6年	コース必修	正課外学習	-	●		●	●
		山口県薬剤師職業セミナー	山口県、県薬剤師会、県病院薬剤師会との産学官連携により、薬学生が目指すキャリア形成に合致した医療施設とのマッチング支援を行う。	4～5年	コース必修	正課外学習	-	●			●